

【ギャンシリーズ】

(ギャンバルカン、ギャンギャバン、ギャン SUSUMU Ver.、ギャン TATEO Ver.)

制作文 / サザキ・スム

一部ではガンプラファイターならぬ、ギャンプラファイターと呼ばれているとかないとか? その時に違ねぬ圧倒的な物量で今回発売部に攻め込んできたのはサザキ・スム氏だ。リヴァイブ版をベースにした「あと10年は戦える」仕上がりをじっくり堪能して貰おう。

【ギャンシリーズ / 機体解説】
まさか騎士団を彷彿させる4機だ。画像左側より、サザキ・スムのギャン、ギャンギャバン、ギャンバルカン、サザキ牛家の次男であるサテオ君のギャン、全てHGUCのREVIVE・ギャンをベースに、サザキ氏が新たに作り直したものだ。これらギャンファミリーの詳細は各ページで詳しく紹介するが、筆者のモードボードの「GYAN」/「IN」キーがこの時点では結構上手そうな勢いである。なるべく優しくタイミングを伺いたい。

GYAN VULCAN

G Y A N D A Y

GYAN GYA GYAN

GYAN SUSUMU VER.

GYAN TATEO VER.



REAR [背面]



FRONT [前面]



REAR [背面]



FRONT [前面]


**GYAN
TATEO VER.**

メタリックブルーとダークグレーのコンビが、甲高いしさをより強調している。ザギキ家はタテオ君の下にも、もう一人人形形の弟がいるそうだ。やはり、前髪をくくるしゃつたりする甘えん坊のだろうか。



■ギャンバルカンの先代におけるギャンギャン、シールドを両腕に装備するザギキ流スタイルは、ここから始まっている。
■盾を除けば、そのシルエットはベース機と変わり無い。だが、マウベのハイロットスターをモチーフとしたラーリングは、ザギキ家の狂気込み…もともと熱烈なギャン愛を隠さないからである。

■REVIVE版の頭部はモア/アスリットの鋸さがあり、ギャンのツールを印象的さら強めてくれたしね。ほくそ笑うサザキ氏、確かにこのギャンギャンの目力は大剣や伴隨に優る程のものだ。

■2点式でガチャリと腕部に装着されたシールドマウンタ。これ自体が可憐し、ギャンが劇中で見せた魅惑の身動きを再現することができる。



■そのが子供よろしく、2枚のパルランを備えたギャン、ギャンギャン同様の2枚シールドだけではなく、サーベルまで両腕に装備。射撃能力も格闘能力を純粹に強化させたコンセプトと言える。

■大型化した背面上部支援スクワットリュアブルツィヤ!の機能性も持つ。この改造ポイントは、サザキ氏がかつて敗戦したオアリセ・セレジウムの影響が多分にあるのだろう。

■新造した頭部だが、やはりギャンはギャン、ベースデザインのイメージを大きく超えない。その手配は、サザキ氏のギャンに対する愛情が確かに感じられるものだ。

■グリップにはシールドを握り出すワイヤー機構が組み込まれている。サザキ氏にとってギャンの盾は防衛するものでも、攻撃するためのものでも無い。良いわ……いや、やはりここはご本人にキメてもらった方が良いだろう。


**GYAN
SUSUMU VER.**

ノーマルのギャンのよう見えてるが、その実はひと肌もぬる毛道違う。グリップのビームライフルを装備し、シールド自体にもモイエー＆回転機構を備えており、いわゆるヨーヨーコマのようないまいち可能だ。



GYANDAY OF 15TH

【15】のキャッピード

一見、盾で防護しながらバルカンで攻撃しているよう見えるが、ギャンの場合は違う。シールドに組み込まれたハイドポンプとミサイルも併用し、全力で攻撃を行っているのである。さらにギャンバルカンのシールドは中央部にビーム発生器も内蔵しており、そこからビーム刃を形成することも可能。防護姿勢が相手へのブリッシャーとなって轟く。まるで殴る小手袋である。

ギャンギャンギャンは第7回ガンプラバトル選手権の地区予選でサザキ氏が使用したガンプラだ。惜しいも準決勝戦で敗退したが、試合の勝者であるオイリ・セイ&レイジ組がこの世界大会でのような活躍を見せてほしい。

（ギャンバルカン、ギャンギ
製作・文／サザキ・スズム

サボテンは毎年1回「カガシ」特別祭りで11月になります。キャンベルの式番号が5から15だから、という説明が白々しくなるほどの当たり前の理由ですが、1年に何度もカガシ特別祭りが開催されるのです。

じゃなくて金(きん)。いや、だからギャン曜(よう)…はい、本当(ほんとう)は
わかつてます。僕のバーソナルを知る優(やさ)しい読者(よくしゃ)の皆さん(みな)
多少(すこし)強引(きょうひん)なこの流れ(りるい)も理解(りやくせつ)してもらえますよね?

が手をかけてきた数々のギヤー達へ感謝と敬意を込めて、リバースイフ版をベースに作り直しました。我が家の中のギヤー人口密度がさらに高まりましたか、「一世帯にギヤーは同体までなんルールはどこにもありません」。

パトルは見といひだけでも楽しめですが、ガンブラーを自分の手で作り上げれば、楽しきだけじゃなくその想いが形つまり“もの”となって手元に残る……さあ、この僕が多少強引な流れで何を言いたいかを、優しい読者の皆さんはすでにお気づきですかね？ では心の中でご唱和ください。



「おやじさーん……おやじ、弟妹がねらでる日々にはあるあるですかね。おやじはおやじさんでござるんでござる。そしておやじはおやじさんでござるんでござる。……僕の心中で生まれてくる気持ちはほんとうの寂しさなのか、それともキャラへの懐恋感などいろいろか。

僕の“ギャンスタ”公開します

人は1人では生きていけないが、サザキ・ススムは1機のギャンさえあれば生きてゆける。そう思わずにはいられない、彼とギャンによる聖地巡礼の旅の記録を紹介しよう！ 盾にはこういう使い方もあるのだよ!!

サザキ君のギャンコレクションの数々を見よ！



Sazaki Susumu 199投稿 1360フォロワー 56200フォロー

ギャンがいればそれで幸せ



+フォローする

